


益田市の社協だより

Vol.254

2020年8月号

はあ〜てい！

 この広報誌には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

オープン
人の駅「じんごう」カフェがOPENしました！



遊びに来てね〜♪

駅長の めい です！



★ 人の駅「じんごう」カフェについては裏面の記事もご覧ください。

益田市社会福祉協議会

本 所 〒698-0036 益田市須子町3-1 TEL: 22-7256 FAX: 23-4177
美都支所 TEL: 52-2392 FAX: 52-2716 / 匹見支所 TEL: 56-0374 FAX: 56-0387

コロナ禍によせて

益田市社会福祉協議会 会長 末成 弘明

今年の夏は、東京五輪・パラリンピック自転車競技に出場するアイルランド選手の応援に出向く予定でした。残念ながら五輪は来年に延期。新型コロナウイルスは南北アメリカ大陸を中心に猛威を増しています。アイルランド選手のキャンプ地・益田市民の一人として状況を憂えています。

新型コロナウイルスの影響は甚大です。益田市内の多くの事業所が自粛を余儀なくされました。

益田市社協では、収入の減少で生活資金にお悩みの皆さんに向けた「特別貸付」(無利子・保証人不要)や、家賃が払えずに住居を失う恐れが生じている方を対象とした「住居確保給付金」支給の相談を受け付けています。また食料を支援する「フードバンク」も多くの市民からの寄贈を受け、4年目を迎えることができました。

益田市社協では「助けてよし、助けられてよし、そして共によし」をキャッチフレーズに、支え合い、助け合う福祉のまちづくりを進めています。

お互いが寄り添い、手を取り、支え合うのが「ふ・く・し」本来の姿です。しかし新型コロナウイルスの感染防止のためには、しばし空間距離を取らざるを得ません。せめて、心の距離は近くあつてほしいものです。

新型コロナウイルスは、大規模災害です。本来活躍するはずの災害ボランティアも感染症の前では身動きが取れません。しかし新たなボランティアも生まれました。今や必需品となったマスクを、学校・医療・福祉施設に寄贈するボランティアです。

当社協では新たに「支えあいマスクバンク」を設置しました。中には味深い手作りマスクも寄せられています。

これまでは、自らを感染から守るためにつけたマスク。今では「他の人に感染させてはいけないから」と、利他の精神で着用するようになったマスク。相手を思いやる「新しいマスクの精神」が嬉しい今日この頃です。

地域とひっく (表紙の写真)



みんなでお茶を飲んだり…

高齢者サロン・人の駅「じんごう」 カフェOPEN!!

<美都>

この春、美都町宇津川にあった旧スーパー「じんごう」の建物を利用した高齢者サロン『人の駅「じんごう」カフェ』がオープンしました。ここは二川の中心部にあり、地域の人々が散歩など通りがかりに集いやすい場所となっています。

「運転免許を返納された高齢者やお散歩中の親子連れなど、いつでも、誰でもが通りがかりに立ち寄って、おしゃべりできるような場所を作りたい!」そんな思いで世話人さんらが立ち上げました。

土日祝日を除く、毎日開いているつどいの場。お散歩の途中で・・・バスを待つ間に・・・美都温泉に入った後で・・・みなさんも立ち寄ってみませんか?

人の駅「じんごう」カフェは、地域のみなさんの見守りや支え合いの場、まさに「地域のお宝」です。



血圧をはかったり…

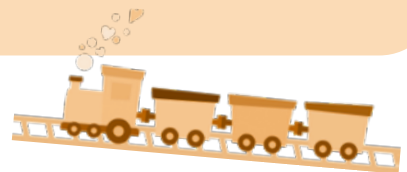


伝言ノートに記入したり…

「じんごう」とは?



手がかかる、始末におえないといった意味だそうです。ただ、市内でも地域によって「じんごう」だったり、「じんご」と言ったりもするみたいですよ!





支えあいの仕組みづくり

生活支援コーディネーターが
地域づくりのお手伝いをします!



生活支援体制整備事業

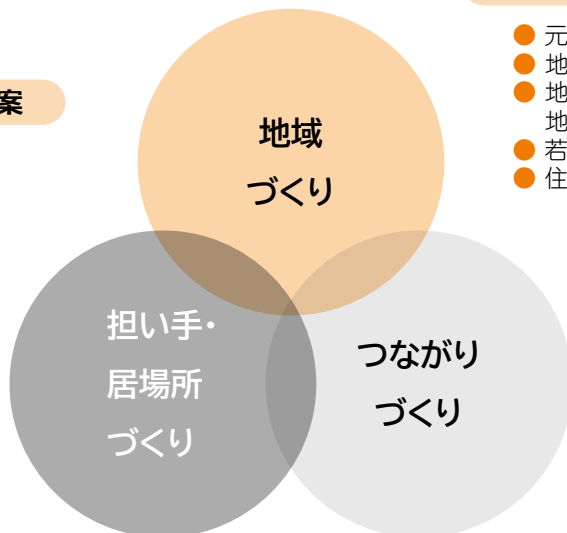


「生活支援体制整備事業」とは？

- ★ 今、ひとり暮らしの方や、支援を必要とする高齢者が増えています。住み慣れた地域でこの先も元気に暮らし続けるため、さまざまな組織が連携して、支えあうしくみづくりをお手伝いします。
- ★ 市内の各圏域に「生活支援コーディネーター」を配置し、住民が中心になって行う生活支援や、介護予防サービスの充実が図られるよう、身近な地域での「支えあい・助けあい」を推進します。

把握・つなげる・提案

- 社会資源の把握
- 生活支援ニーズの把握・共有
- 担い手の育成・発掘
- 資源開発



支えあいづくり

- 元気な高齢者の参加
- 地域の企業・NPOの協力
- 地区社協・公民館・自治会・地域自治組織等との連携
- 若い世代の参加
- 住民一人ひとりの関心 など

連携・協力

協議体

地区社協・公民館・自治会・地域自治組織・民生委員・福祉委員・サロン・ボランティア・老人クラブ・社会福祉法人・地域包括支援センター・民間企業・NPO 等

「生活支援コーディネーター」って何をするの？

- ★ それぞれの地域の高齢者を中心とした生活ニーズ（買い物、診療の付き添い、話し相手、掃除、ごみ出し等）を把握します。
- ★ 生活ニーズに対応するための社会資源調査や、さまざまな機関・団体と連携した支援体制づくりを行います。

指定管理事業・介護サービス事業等の適正な管理運営

①指定管理事業

- 益田市総合福祉センター<本所>
- 益田市立匹見保育所<匹見支所>
- 美都地域高齢者福祉施設<美都支所>
- 匹見地域高齢者福祉施設<匹見支所>

②在宅・福祉サービス事業<本所>

- 指定居宅介護支援事業所
 - ・延べ利用者数 1,640名
- 指定訪問介護事業所
 - ・延べ訪問回数 7,089回
- 指定訪問入浴介護事業所
 - ・延べ訪問利用者数 1,375名
- 高齢者世話付住宅(シルバーハウジング)生活援助員派遣事業 44世帯

<美都支所>

- 美都町居宅介護支援事業所
 - ・延べ利用者数 503名
- 美都町ホームヘルパーステーション
 - ・延べ訪問回数 2,475回
- 益田市立美都デイサービスセンター
 - ・延べ利用者数 5,122名
- 益田市立特別養護老人ホーム 美寿苑
 - ・介護老人福祉施設 定床利用率 99.1%
 - ・短期入所生活介護事業 定床利用率 75.2%

- 益田市立老人ホーム 春日荘
 - ・養護老人ホーム 入所定員 50名
 - ・外部サービス利用型特定施設
- 美都地域包括支援センター
 - ・延べ相談件数 241件
 - ・介護予防ケアプラン作成 延べ 277件
- 配食サービス事業 延べ利用者数 807名
- 外出支援サービス事業(移送サービス)

<匹見支所>

- 匹見指定居宅介護支援事業所
 - ・延べ利用者数 460名
- 匹見訪問介護事業所
 - ・延べ訪問回数 1,106回
- 匹見指定もみじ通所介護事業所(もみじデイ)
 - ・延べ利用者数 2,362名
- 匹見指定通所介護事業所(ふれあいデイ)
 - ・延べ利用者数 439名
- 益田市立特別養護老人ホームもみじの里
 - ・介護老人福祉施設 定床利用率 96.1%
 - ・短期入所生活介護事業 定床利用率 66.9%
- 益田市立匹見高齢者生活福祉センター ふれあいの園 定床利用率 74.3%
- 匹見地域包括支援センター
 - ・延べ相談件数 195件
 - ・介護予防ケアプラン作成 延べ 371件
- 配食サービス事業 延べ利用者数 771名

社会福祉法人等との連携・協働による地域公益活動の推進

- 益田市社会福祉法人連絡会の設立・運営
 - ・益田市内に所在する29の社会福祉法人の加入賛同を得て、「益田市社会福祉法人連絡会」を設立
 - ・島根県より委託を受け「小規模法人のネットワーク化による協働推進事業」の実施

本会経営基盤の強化

- 組織統治体制の確立と機能強化
 - ・理事会(3回)、評議員会(2回)、監査会(3回)
- 職員の人材確保・育成・定着の推進
- 安定した財源確保と健全な財政運営
 - ・社協会費(一般会費・賛助会費・特別会費) 17,341口 14,628,400円
 - ・善意寄附金 137件 6,912,829円

令和元年度 益田市社会福祉協議会資金収支決算

収入項目		支出項目	
会費収入	14,628,400	人件費支出	673,888,912
寄附金収入	7,072,829	事業費支出	202,475,647
経常経費補助金収入	101,476,985	事務費支出	88,050,672
受託金収入	310,869,408	利用者負担軽減額	64,073
貸付事業収入	1,431,593	貸付事業支出	1,080,000
事業収入	8,174,982	共同募金配分金事業費	12,176,200
負担金収入	254,500	助成金支出	17,532,403
介護保険事業収入	544,563,921	負担金支出	817,840
保育事業収入	293,950	その他の支出	194,910
障害福祉サービス等事業収入	3,879,510	固定資産取得支出	1,680,994
受取利息配当金収入	9,666	ファイナンス・リース債務の返済支出	5,749,056
その他の収入	9,922,756	基金積立資産支出	978,642
積立資産取崩収入	70,000,000	積立資産支出	70,000,000
拠点区分間繰入金収入	64,316,917	拠点区分間繰入金支出	64,316,917
サービス区分繰入金収入	24,604,793	サービス区分繰入金支出	24,604,793
その他の活動による収入	32,145,654	その他の活動による支出	24,214,690
前期末支払資金残高	141,472,355	当期末支払資金残高	147,292,470
収入合計	1,335,118,219	支出合計	1,335,118,219

令和元年度 益田市社会福祉協議会事業報告 (H31.4.1~R2.3.31)

令和元年度は、新たに『助けてよし、助けられてよし、そして共によし』のキャッチフレーズを掲げ、国がすすめる地域共生社会の実現に向けて、また益田市と一体的に策定した「第3期益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の基本理念である『みんなで支えあい、助けあう福祉のまちづくり』の実現をめざして、本会の持つ総合力を発揮しながら各事業の推進に取り組みました。

不本意ながら、新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、年度末に行う事業を中止することとなりましたが、概ね予定どおりに実施することができました。市民のみなさまのご支援とご協力に感謝いたします。

重点項目及び主な実施事業 ※ 社協ホームページにも詳しい報告を掲載しておりますのでそちらもご参照ください。

益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づいた地域福祉の推進

- 第3期益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進
- ふれあいのまちづくり事業
 - ・ 益田市社協・津和野町社協・吉賀町社協連携・協働による支えあいマップづくりの推進
 - ・ ふれあいネットワークまちづくり研修会の開催
- 地域福祉活動助成事業
 - ・ 助成団体数 10団体(助成総額 1,423,000円)
- 福祉バス運行事業
 - ・ 延べ利用団体数 148団体
 - ・ 延べ利用者数 2,287名
- ふれあい・いきいきサロン事業
 - ・ 新規サロン件数 6件、継続サロン件数 85件
- ふれあい・子育てサロン事業
 - ・ 新規サロン件数 2件、継続サロン件数 10件
- 福祉啓発・広報活動の充実強化
 - ・ 機関誌発行事業 社協だより「はあ〜てい」6回
 - ・ 社協ホームページ事業
- ボランティア・市民活動の振興と福祉教育の推進
 - ・ サマーボランティアスクールの開催
参加者数 171名(延べ195名)
 - ・ 福祉教育推進協力指定校への活動支援
小・中・高・養護学校 29校(1,591,000円)
 - ・ 出前手話講座の開催
小・中・高等学校 7校(受講者数 382名)
 - ・ 福祉出前講座の実施
実施件数 28件(延べ受講者数 671名)
- ・ あいサポート運動の推進
実施件数 7件(延べ受講者数 168名)
- 益田市ボランティアセンターの運営
 - ・ ボランティア活動の促進・サポート
 - ・ ボランティアに関する広報・啓発
「ますだボランティア情報」年3回発行 等
- 災害発生に備えた被災者支援活動の推進
 - ・ 災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施
 - ・ 益田青年会議所と災害ネットワーク協定書締結
- 益田市社会福祉大会の開催(参加者数 約200名)
- 益田市民余芸大会の開催(来場者数 約800名)
- 友愛メール事業による見守り活動 <美都支所>
 - ・ 月平均発送者数 69.0名(延べ発送者数828名)
- 美都地域子育てサロンの開設 <美都支所>
 - ・ 年10回開催(参加者数 延べ128名)
- 子育て用品レンタル事業 <美都支所>
- 美寿苑高齢者サロン「暖暖茶の間」の開設 <美都支所>
- 安心♡お買い物宅配サービス「匹見らくらく便」事業・「らくらくサロン」の開設 <匹見支所>
 - ・ らくらく便 登録 16世帯 延べ利用数 97回
 - ・ らくらくサロン 開催数 2回
- もみじの里地域交流ホールでの「もみじサロン」の開設 <匹見支所>
- 町民チャリティー発表会の開催 <匹見支所>

関係機関・団体等との連携・協働による総合的な相談支援体制の拡充

- あんしん生活支援センターによる包括的支援体制の整備
- 総合相談事業
 - ・ ふれあい福祉相談(相談件数 93件)
 - ・ 法律相談(相談件数 35件)
 - ・ 老人・母子相談、電話訪問
- 生活困窮者自立相談支援事業
 - ・ 相談件数 133件 プラン作成 43件
- 福祉資金貸付事業
 - ・ 民生融資 33件(1,080,000円)
 - ・ 生活福祉資金 22件(15,421,000円)
- 入居債務保証支援事業
 - ・ 相談件数 10件 利用件数 16件
- フードバンク事業
 - ・ 支援件数 110件 品数 2,385件
- 日常生活自立支援事業
 - ・ 相談件数 1,656件 実利用者数 82件
 - ・ 新規契約数 17件 支援回数 1,838回
- 法人後見事業
 - ・ 新規受任件数 2件 継続受任件数 6件
- 市民後見推進事業
 - ・ 権利擁護人材育成公開講座 受講者数延べ126名
 - ・ 講演会の開催 参加者数 105名

令和2年度 社協会費ご協力のお願いについて

昨年度も皆さまのご支援により、福祉事業を滞りなく展開できましたことを、心より感謝申し上げます。今年度も『誰もが安心して暮らせるまちづくり』を積極的に推進してまいります。地域福祉事業推進のため、皆さまからのご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【社協会費の種類】

- 一般会費：800円（地区社協・自治会を通して各世帯にお願いしております）
- 賛助会費：1,000円以上（社協役員、評議員、福祉関係機関・団体及びその役員、その他個人）
- 特別会費：5,000円（篤志家、会社、団体等）

【会費の用途】

講演会・研修会、サマーボランティアスクール、出前手話講座、他にも『誰もが安心して暮らせるまちづくり』を進めるための各種事業の貴重な財源として活用されています。

【申込方法】

一般会員会費につきましては、各自治会を通じてお願いしております。その他賛助会員、特別会員のご加入につきましては、直接社会福祉協議会窓口もしくは下記連絡先までお問合せください。

【お問合せ先】 益田市社会福祉協議会 TEL：22-7256 FAX：23-4177 まで



善意の輪 (令和2年3月1日～令和2年5月31日) 敬称略

ご寄附ありがとうございます。地域福祉活動事業費や、福祉基金積立の原資として、大切に活用させていただきます。

【香典返し】	【香典返し】	【香典返し】
山下 悦朗 乙吉町 金一封	岩井 潤三 小浜町 金一封	渡辺 豊孝 匹見町紙祖 金一封
西本 勝美 高津六丁目 金一封	(故) 三浦 庫重 高津五丁目 金一封	【見舞返し】
中村 克也 小浜町 金一封	(故) 小田 頼登 七尾町 金一封	大谷 敏明 匹見町道川 金一封
(故) 山岡キヨ子 遠田町 金一封	佐々木正子 喜阿弥町 金一封	【一般寄付福祉事業へ】
(故) 大久保真紀 高津六丁目 金一封	(故) 大畑富士樹 中島町 金一封	㈱タイピック 常盤町 30,000円
(故) 小松 千也 水分町 金一封	前田 義幸 久城町 200,000円	㈱タイピック パソコン教室 常盤町 70,429円
田村 清己 市原町 金一封	(故) 河野 菊江 美都町宇津川 金一封	㈱益田自動車 釜金塗装 東町 80,000円
(故) 高橋 佳子 下本郷町 金一封	(故) 堀野 修 美都町朝倉 金一封	下森 悟 遠田町 金一封
(故) 宮崎イワノ 本俣賀町 金一封	齋藤 峰子 匹見町匹見 金一封	

あんしん生活支援センター ふれあい福祉相談のご案内 8・9月

相談	開催日	時間
無料法律相談	9月11日(金) ※8月はお盆のためお休みします。	13:00～15:00
ふれあい福祉相談	9月11日(金) ※8月はお盆のためお休みします。	10:00～15:00
老人母子相談	8月28日(金)・9月11日・25日(金)	10:00～15:00

どんなことでも、まずはご相談ください。いっしょに考え、解決へのお手伝いをいたします。



お問合せ
ご予約

あんしん生活支援センター(益田市社会福祉協議会)

フリーダイヤル：0120-062-301 / TEL：22-7256 / FAX：23-4177 (月～金 8:30～17:30)

美都無料法律相談のご案内

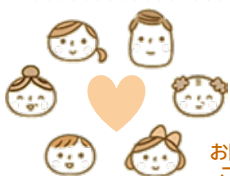
9/16 (水) 13:00～15:00

※ 相談には予約が必要です。詳細は下記までお問合せください。

場所：ふれあいホールみつ

担当：おとよし法律事務所 弁護士 田中 秀樹 氏

益田市社会福祉協議会美都支所 TEL:52-2392 又は益田市社会福祉協議会 TEL:22-7256 まで



令和2年度 福祉公開講座のお知らせ

※ 前号で告知しておりました6・7月開催予定の福祉公開講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のため9月以降に変更となりました。

日にち	時間	テーマ	講座名
9/4(金)	13:30~14:30	特殊詐欺	「騙されない! 特殊詐欺!!」 ~心がけよう身近な防犯対策~
9/12(土)	9:30~11:30	終活	「終活を始めよう!」 ~思い立ったが吉日、今日がはじめての第一歩~
9/25(金)	13:30~14:30	在宅介護	「やっぱり家が好き」 ~在宅医療、在宅介護のおはなし~
10/2(金)	13:30~14:30	ペット	「飼い主の高齢化」 ~ペットがもたらしてくれるもの~
10/9(金)	13:30~15:30	健康	「冬を元気に乗り切るために」 ~冬に多い脳卒中を防ぐ~
10/16(金)	13:30~15:30	障がい	「あいサポーターを知っていますか?」 ~障がいが壁にならない社会への第一歩~
10/23(金)	13:30~14:30	電子マネー	「キャッシュレス社会がやってきた!」 ~わかりやすいキャッシュレス講座~
11/4(水)	13:30~15:00	遺言	「残された人に伝える想い」 ~公証人に聞く遺言状の作り方~
11/12(木)	13:30~15:30	認知症	「認知症なんかこわくない」 ~ありふれた日常の中の認知症~
11/20(金)	13:30~15:30	依存症	「やめたいのに、やめられない」 ~依存症とは何なのか~
11/25(水)	13:30~15:00	ゲートキーパー	「ゲートキーパーを知っていますか?」 ~あなたのたいせつな人を守るために~
12/4(金)	13:30~15:00	リサイクル	「おこもりのススメ」 ~リサイクルで楽しむインドア生活~
12/11(金)	13:30~15:30	自然災害	「備えあれば憂いなし」 ~身近なもので備える防災セット~
12/18(金)	13:30~15:00	地域福祉	「益田をもっと暮らしやすく!」 ~地域の中で生きる、みんなとつながる~
1/15(金)	13:30~15:00	相続	「相続のルールが変わりました」 ~民法改正で相続の何が変わったのか~

【会場】 益田市総合福祉センター（益田市須子町3-1）

【ご注意】

1. 講義の際はソーシャルディスタンスを守り、席同士の間隔を空けて実施します。
2. 入館時にはマスクの着用、受付での検温・手指の消毒をお願いします。また教室の消毒などを徹底します。
3. 一定時間おきに教室の換気を行いますので、冬場は服装にて体温調節をお願いします。
4. 各講座の定員は基本的に25名ですが、講座によっては増減をします。
5. 状況によっては講義内容が変更・中止となる場合がありますので、ご了承ください。

【申し込み方法】

益田市社会福祉協議会本所・支所、各地区公民館にて要綱・申込書を設置いたします。
また、申込書は社協HPからもダウンロードができます。申し込み方法は、設置場所に
直接お持ちいただくか、FAXまたは電話にてお申し込みください。

【お問い合わせ】

益田市社会福祉協議会 TEL 0856-22-7256
担当：横田（よこた）・早内（はやうち）





映画「高津川」ご縁の看板が お目見えしました。 <匹見>

昨年公開の映画「高津川」出演俳優でもある緒方幹太氏（書家名 幹山）が揮毫された銘入り看板が、匹見町内91カ所の事業所や施設にお目見えしました。

この看板は匹見産の広葉樹の利用促進や林業PRのために制作されたもので、益田市から社協匹見支所管内の5事業所にも贈られています。自然豊かな「匹見」の木材と幹山先生がコラボレーションした銘入り看板、匹見地域の各所に掲げてありますので、ぜひ一度ご覧ください。

TOPICS



三井会さんから手作りマスクを いただきました。

市内にある歌謡舞踊サークル三井会（三井妃紗子代表、10人）さんから、「新型コロナ感染の予防に役立てて」と人気キャラクター達をあしらった手作りマスクをご寄贈いただきました。

マスクの生地は、匹見の方から提供を受けたもの。

おなじみのキティちゃん等の絵柄の布を、子どもサイズの小さめマスクとして丹念に縫い上げたもので、匹見にゆかりのある生地ということから、今回いただいたマスクは全て匹見保育所の園児たちに贈らせてもらいました。



支えあい マスクバンク

はじめました！

ご家庭や職場で眠っているマスクがありましたらご寄贈ください！！

いただいたマスクは、マスクを必要とする学校、福祉施設や市民の方々にご提供します！！

受付は益田市社会福祉協議会本所・美都支所・匹見支所の他、益田市役所ロビー、益田市保健センター等でも行っています。詳細はホームページをご覧ください。電話0856-22-7256までお問い合わせください。



発行：社会福祉法人 益田市社会福祉協議会
編集：益田市社会福祉協議会広報運営委員会

〒698-0036 益田市須子町3-1
TEL:0856-22-7256 FAX:0856-23-4177
社協e-mail:masuda_h@masuda-shakyou.or.jp

「はあてい」は英語で「心の温かい」、「真心のこもった」という意味をもつ「Hearty」の読みを日本語表記したものです。

社協ホームページ

益田市社協

検索